

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 坪田 康 副委員長 近藤公久・竹内和広

幹事 森下美和・高田明典 幹事補佐 神長伸幸・下郡啓夫

日時 3月13日(日) 9:30~17:55

会場 オンライン開催(早大 原田康也)

議題 テーマ(1): 言語と学習・言語の学習, テーマ(2): 通訳・翻訳・ホスピタリティーコミュニケーション, テーマ(3): 言語景観・言語接触・言語変化

午前セッション(9:35~12:15)

1. 生体信号とキーワード分析によるドライバの感情推定技術の検討
○吉本晴香・羅 金山・平松裕子・伊藤 篤(中大)
2. 脳波センサを利用した学習者の反応分析: 対面授業・オンライン授業・言語学習への応用可能性
○伊藤 篤(中大)・望月圭子(東京外大)
3. キーワード分類によるアイデアの創出支援に関する研究
○阪原 淳・長谷川まどか(宇都宮大)・伊藤 篤(中大)
4. AIを利用した牛の行動に関するアノテーション作成技術の検討
○原 香織・伊藤 篤・平松裕子(中大)・長尾慶和・芦部詩織(宇都宮大)・佐々木 陽(GClue)
5. 日光観光案内アプリのマルチメディアコンテンツの構成に関する検討
○川上晴人・中山春佳・平松裕子・伊藤 篤(中大)・長谷川まどか(宇都宮大)・原田康也(早大)・上田一貴(東大)・佐々木 陽(GClue)・森下美和(神戸学院大)・佐藤美恵(宇都宮大)
6. 留学と認知・行動変容—ふりかえりの分析—
○森下美和(神戸学院大)・阪井和男(明大)・富田英司(愛媛大)・原田康也(早大)

午後セッション(13:00~17:55)

7. [招待講演] オノマトベは外国人日本語学習者にも習得されやすい語彙なのか? 玉岡賀津雄(名大)
8. 料理の日本語の翻訳とその課題—おいしさの表現としてのオノマトベと英訳について— 福留奈美(東京聖栄大)
9. 英語条件表現の諸相 佐良木 昌(明大)
10. 京都の言語景観—インバウンド観光客不在で明らかになったこと— 森下美和(神戸学院大)
11. 観光地日光における言語景観—継承と変容—
○平松裕子(中大)・森下美和(神戸学院大)・原田康也(早大)・伊藤 篤(中大)・佐良木 昌(明大)
12. 多言語地域における教育機器・手段としての翻訳 片田 房(早大)
13. 言語学習歴に着目した外国語学習の考察—日本語母語話者のための英中連携発音再学習の攻略—
湯山トミ子(都立大)
14. 創発的物語を促す教育的虚構空間の構成について 坪田 康(京都工繊大)
15. 約束の『知』に『虚実の相克』のあらんことを—電脳空間(ヘテロトピア)における多文化接触—
原田康也(早大)

【問合先】

坪田 康(京都工繊大)

E-mail: tsubota.yasushi@gmail.com